

パリの女性

(二)

えと文
鴨居

玲



思わぬ不注意から右腕を折り、全く散々な夏であった。

さて、向い側にモジリアニが、下にはゴーギャンのいたアトリエのある所に私はパリのアトリエを定めた。と、意味ありげに書いたところで薄汚い何の変哲もない安ホテルの一室にすぎない。隣の部屋を覗くと日本人の矢張り若い画家がいた。段々口を利くようになり「パリの画壇について貴方の御意見は？」というような話題が二日ばかり続いたあとで、お互いにしんどいなアとばかり「80度」に話題を変えたのは我ながら教養がないと思う。さてA君は「俺は生れつき馬鹿で、学校が嫌い」でローマ字もよく読めないんだ。しかしお

前もバカだな、パリへ奥さんと来るなんてのはお前何しに来たの」「じゃああなたは奥さんを日本に置いてきたの?」「バカだよおメエは、結婚する程俺はバカじゃねエんだから」バカにもいろいろ種類があるらしい。「俺は今度、彼女をつくるつもりだよ。ホントにおメエはバカだな然し彼女をつくるにや言葉が使えなけりゃー」かくて私もA君のお伴でベルリッツスクールに通う身となった。それからA君は、それこそ寝てもさめても、のすさまじきで動詞変化の暗記、「俺はね、バカだからやれるんだ。おメエなんか生じっか中途半端に学があるからやれないんだよ」

そのA君が、ある日もつと安いホテルがあったから移るよ、とセーヌ河に近い所へ移って行った。三カ月もたつたらうか、A君意気揚々と現われた。「オイ彼女が出来たよ」まア顔は風采からして日本でも仲々彼女の出来そうにない彼女のだが、矢張りパリは話に聞いた「恋の都」なんだらうか。「カフエでね、女性がいるだらうそしたらサ、フランス語の教科書を開いて質問するのサ、喜んで教えてくれるよ、それからさすべては……」「あんた少しもバカじゃないよ」「おメエよりは執念があるからな、俺今な、米、仏、独なのさ」驚きと少しの羨しさと私は阿然となった。

「忙しくてなア、おメエとつき合っちゃおれねエよ、絵を描く暇もねエがお陰でフランス語は上達したね。」「どう?感想は」具体的に聞きたい所だが何か私の邪魔をした。「フランスの女はタイハイテキだよ。おメエすげーんだから俺面喰ったよ」何がタイハイなのか詳細は分らんが、彼は満足しきった顔で「然しな、世界中矢張り結局は同じさ俺ケエルゼ」彼のいう通り俺はバカに違いないそれにしても米仏独とは、畜生、まるでオリンピックじゃないか。その上フランス語プラベラときやがる。その夜、私は神戸のみるからにラテン系ではないかとさえ思われる程女性に親切に関心をもつMさんに手紙を書いた。「まア世界中の女性も別にたいして変わったこともないが、さすがに伝統を誇るパリジェンヌはすごい。私は面喰ったよ、云々」と。

(画家)

神戸の文化をどう創る



文化人口はふえつつある

宮崎 どういうものかこれまで、神戸には文化的な動きがなさすぎましたね。

松井 おっしゃるように、神戸にはそうした動きが余りにもなさすぎた——の一言に尽きるでしょうね。日本の情操文化のあり方をみると、芸術活動は東京が中心だし、その東京に対する関西、あるいは東京に対する大阪というものは一応形づくられてるんですが、神戸は大阪の陰になって消えてしまってる（笑）古ほけてひずんだ郷土主義じやなく、もっと神戸独自の動きというものがあってもいいですね。

沼 古典の方ですが、ずっと昔は神戸といえは大阪でみられないものがありましたよ。東京歌舞伎なども大阪を素通りして神戸にきてました。

松井 音楽の方も神戸港が日本上

陸の第一歩、まっさきに神戸でやったのでしょ？かつては——

宮崎 神戸で『演劇不毛の地』という言葉をよく聞きますが、いまのお話では、東京歌舞伎が大阪を素通りしても神戸でやってたというのはいつ頃ですか。

沼 昭和初期でしょうが。

吉村 それは八千代座？どこかな宮崎 一番最初は八千代座でしょうね。それから松竹劇場が出来たんですね。私は子供心に覚えてるんですが、聚楽館が帝劇の真似をして建ち、オペラもやってたことがありましたよ。

沼 そういうことで、私は神戸の文化というものが羨ましいと思っただけがあるんですよ。よく歌舞伎をみに神戸に出かけたものです。

宮崎 私らもそうしたものを子供時分にはよく見にいった経験もあるし、神戸でも相当盛んだったよな感じがするのに、いわゆる大

写真上より

出席者

宮崎

辰雄
(神戸市助役)

吉村

一夫
(音楽評論家)

赤根

和生
(美術評論家)

沼

艸雨
(演劇評論家)

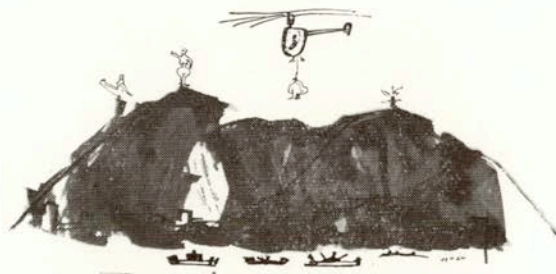
松井

高男
(神戸新聞学芸部長)

神戸で国際的美術展を開こう！

六甲山で彫刻展を

世界からお客さんがやってくる。



人としてのものが心がついてからで
すね(笑)神戸には殆どそうした
ものがない。戦後は素通りが多い
交通と人口問題もあると思うん
ですが、何も神戸にこななくても愛
知家は大阪という時代になってき
たんでしょね。

横浜がありましょ。横浜は
東京へ行けばよい。神戸は大阪へ
行けばいいんだとね。

じゃ京都は何故かっていいま
す、京都は元来がそういう雰囲気
の都ですから、まあ、これはそこ
である程度定着した——と、いう
ことじゃないかと思うんですよ。
そういうことでね、急に文化活
動を起しても神戸では育ちにくい
ような感じがして仕方がないん
ですが大へん淋しいことなんで、何
んとかうまくいくように考えない

といけないんだけど——(笑)

赤根 京都、大阪、神戸と関西の
三大都市を比較した場合、文化と
いうか、芸術というか、そういう
ものの範囲で神戸には何か新らし
いものが芽生えてくる上の一つの
抵抗が何もないと思うんですよ。

京都が割合い前衛運動が盛んだと
いうのは、やはり古いものが頑
としてあるからだと思うんですよ。大
阪は人口の関係もありますが、何
か文化以外のピアな形での芸術と
か以外の不純な要素が多いように
思うんですよ。神戸は非常に小ぎ
いな面が大いにあって、それが奇
妙に溶け込んであまりエネルギー
となつて出てこないのではという
ことがいろんな面で見えろと思う
みな外來の文化で、例えば美術の
面で見れば、風景はたくさん描く

処はあるし、気候はいいし、山あ
り海ありで、その中でやっておれ
ば結構、絵になるし、その絵にな
り方が、非常に地方的な形である
程度やっていけば、神戸なら神戸
という小さなサクの中で何んとか
お茶をにごせる状態にすべてがそ
うなっている面があると思うん
ですよ。

宮崎 少数の人を対象とする芸術
というものはね、神戸でもいける
と思うんですよ。でも大勢の動員
を必要とするとな、神戸ではダメ
なんです。いまの絵なんかね、こ
描いて特定の顧客に売ると、こ
いうものはね、売れる相手が一人
ですからね、これなら商売も成り立
つし、いまおっしゃったように環
境もいいからね。所が大衆を動員
しなければならぬ音楽、演劇な
どは人口や交通問題などで変つて
きつたあるという気がして仕方が
ないんですよ(笑)

沼 けっきょく、どの都市にして
も文化人口というものが少くない
のじゃありませんか。戦後は発展
はしましたが、自分の生活の建て
直しに窮々としていましたからね
もう少しすれば、そうした文化人
口というのは大いに出来てくる
んでは——という希望をもってい
るんですよ。まだあわてなくても、
悲観することはないという気持な
んですよ。

松井 再び醸成されつつあるとい
うことです。精神生活を豊かに
するためにこれからの市民生活に
それらは欠かすことの出来ない
ものになりつつありますし……

沼 能にしましても友の会などが
出来てのをみますと、そういう
人口がたとえ五、六百でも出来て

きたことは一つの進歩だし、能以外のものにしても、労音、労演にしても数が増えてきてますからね。これからはやはり大資本的にやっていたからいけたわけですが。でも県市や新聞社などが力を入れれば案外、古典のものなどいけるんじゃないかと思うんです。

ところが、そうした指導者階級には音楽や新劇は解かる人は多いが、歌舞伎や浄瑠璃には理解のある方が少くないでしよ。だからつい敬遠されるんですね。これではよい大衆はついてきてくれないんですよ。ま、そこらの点が進んでくればよくなるんでは—と思います。

松井 大衆動員の点で神戸の絶対人口の問題というのは、さきほどお話しやうたようにどうしようもないと思います。同時に阪神間はとくに交通の便もあり、なにも神戸でやらなくても大阪へいけばいいわけですが、これはやはり特定の人に限られるのであって、いまのお話のようにそれだけの人口、そしてムードが醸成されだしてきて以上は、鑑賞する側にとっても文化活動をやる側にとってもやはり地元にかよりどころがなければいけませんね。

宮崎 それは望ましいことですねローカル意識をすて

国際的な特色を作ろう！

吉村 創造する側は、阪神間に住んでる方が多いでしよ。寝る場所としては兵庫県だけで働きの場としては阪神間—まあ、どちらともいえないけど。だから、神戸としては、もうエキゾチズムは次第に下火になると思うんです。カ

ワラせんべいの方もローカルなものになり何か新しい特殊なものがこの際いるんじゃないかと思うんですよ。ホールも出てくるしね何か神戸には「みなと神戸」としての女の子のものが大阪より気がきいていっていった線か、あるいはローカルな線のどちらかでない？と特殊性は出ないと思うな。

宮崎 ローカルなものとは、40年出て来たあがった町ですかね。伝統がないでしよ。そうなると、むしろ特色のあるもの、それが今迄は「みなと神戸」というもので表現されていたのでしよが、それがだんだん薄くなりますね。むしろ港が「空の港」になつてしまつたりしてね。ではその特色をどういう処へもっていくかというのを今後考えないといけないと思うんですが、私もこれはわかりませんね。

吉村 だから大阪や京都の垂流であつては意味がないということ。赤根 むしろ、日本が近代化された明治以降の、神戸なら開港したあたりのそこから始めて、それより前のことはあまり気にする必要はないと思うんですが——。これは僕がこの七月に歐洲の展覧会を巡つた時に感じたんだけど、オランダのフアーレンという処にフランスハルスの美術館があるんですが、その美術館が出来て百年というのでその記念祭があり、世界各国からの作品が集まつたのですが、それだけを見るためにオランダへくる人がずい分いたんです。半年はかかってみなければならぬものが一カ所でみられるわけですからね。

ロンドンであつたそうした催し

もかなりの観客層を動員してましたが、そういう意味での美術だけでなく、国際会議の場所とか、例えば僕の参加した美術の会議はオランダのヘーグであつたのですがこの会だけでなく、他の小さな町で建築の会議もあり、それを中心にしていく多くの人がオランダにきてました。神戸などは、そういう意味で国際的な会議とかいったものを持つこととか、もっと積極的な神戸というローカルな考えでなしに、日本の中の神戸であり、その神戸が何か国際的につながっているといった行き方をやればいいんじゃないかと思いますが、松井 いちばん神戸らしいですね。これからの目ざしていくには国際的なもの、少くともそうした感覚が必要ですね。

宮崎 そうですね。だからローカルな文化は何もなかったんだと、何もなかったことから出発していくことの方がいいと思います。松井 むしろその方が行きやすいでしよ。カビ臭いものではなく、やはり「あすの文化」を目指すべきだし、他都市のものまねではなく、神戸独自の個性を持つべきです。

文化活動の場がほしい

吉村 前衛はとにかく神戸だといつたものとかね。

赤根 これ僕らには一番大きいことだと思えますね。それが何か妙に全てが日本的に処理されていつの間にかエネルギーにならないうちに消えてしまふ。

吉村 そういうものが実験的に活発に行なわれるようなものになる？と特殊性というものが出てくる。

沼 大阪でもそういう前衛的なも



きものさろん
服飾細貨
きものと細貨
西店
東店
新橋店
神戸
東京

おんがら屋

神戸・西店 TEL ③ 8836
東京・東店 ③ 0629
東京・新橋店 (571) 0807

紳士服飾・婦人服飾

セリザワ

紳士服飾 / 大丸前 ③-3900
婦人服飾 / 大丸前 ③-1695
婦人服飾 / 三宮センター街 ③-6114



let's get by Pretty

おしゃれの季節

婦人帽子 マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
TEL ③6711-3 TEL (535) 5041



金 柴田音吉洋服店

神戸・元町通四丁目 ④0693

大阪・高麗橋二丁目 ②32106

のをやるんですが、一番困るのは経済問題ですね。やるとすれば個人でやるわけですが、シニセがついてれば誰もが引き受けませんが、どうなるかわかりませんでしょ、だからお金を出す人なんて恐らくいませぬからね。やれば赤字が出るのをうめるのに二、三年はかかりませぬ。これで片づけばいい方ですからね。そんな状態だから前衛活動をしようと思っても出来ない

松井 そうしたことで思いますのはね、特定の団体に県市が補助すること、これは考えられないことですからね。税金をそんなふうに使ってもらうのは困る。ただそういう団体やアーティストたちが活躍しやすいような場を形づくってやる——というそういう基礎的なものももっと何か施設としてあっていいと思います。

吉村 そりゃ、市民劇場とか実験劇場とかいったものがほしいね。宮崎 美術館にしても同じですね。赤根 美術館となると何か片よるでしょうから文化会館といった形でね、演劇も音楽も出来るという形式のものでいいですね。

沼 大阪でもそうしたことを市長らが寄って話すのですが、小ホールの活発なものをつつ、三つはほしいですね。

松井 しかも低料金でね。赤根 そうですよ、国際会館のような形でなくてね。

吉村 だから大ざっぱにいつて、少数精鋭主義みたいな行き方しかないですね。

松井 例えばギャラリーにしても自由に画家が作品を運び込んで展観できるという、非常に安く使えるとか、むしろ無料で使える位の

ものがあるとかいう、そういう寄りどころの場を提供してもらえれば芸術活動ももっと活発になるでしょう。

沼 新劇団体でも仮りにそうしたケイコ場があつて提供してもらえ市の会館などで低料金で貸してもらえらえるとなれば、すぐやれますからね。仮りに赤字が出たとしても少なくなてすむ。今の様に普通の商業ホールを使って、ケイコ場にはどこかの事務所をかりるとなると費用がいつて大へんです。その上キップを売るとなればなおさら大へんです。それから、これは私の経験からですが、マスコミの影響力って偉大ですが、マスコミから目新しいもの以外の目立たぬ存在のいいものも大いにとりあげてほしいですね。新聞社がちょっと力を入れてくれるだけで違ってきますからね。

地方独自で文化が育てられる行政に

宮崎 何か一つの音楽なら音楽がそこでやれるような場所を持つことが先決問題——というようなご意見なんです、ところが、これは役人の感覚になるんですが、(笑)いまの行政制度ではやれないようになっているんですよ。京都の美術館や大阪の天王寺のもの、東京の日比谷公会堂などにしても全部戦前のものなんです、戦後はそういうものに対しての財源をみとめないんですよ。

京都に京都会館が出来たのは、観光税をとりあげてお寺の拝観料などからとった税で作ったんですね。国自身はやるんですけど、国立劇場を作るとかいつてますが、地方にはそれだけの余裕を与えな

い仕組になつてゐるんです。だからまずそういう制度を改めさせ、地方独自で文化を育てるような行政がやれるようにしないとかなかなか地方の特色は出ないと思います。さういふ京都は、観光税がとれたので会館も建つたし、交響楽団も養えるようになったんですよ。他都市は苦しいんですよ。だから戦後に美術館が出来たのは個人じゃありませんか、ブリジストンが建てたりしてね。とにかくやりにくいようになつてゐるのは事実でこれを私はなんとか打破して地方で文化活動がやれる位のものを公費で出せるようにしたいと思つてゐるんですが——

吉村 文化国家が立派なのは、口先だけですな(笑)

沼 税金のことです。いつもいふんですが、文化国家だといひながら芸術関係から入場税をとつてね、政府が養つてもらつてゐるわけですよ。

(一同爆笑)

吉村 補助金を出すべきものから税金をとつてゐるんだからね(笑)

沼 赤字のものでも入場税はとるんですからね、安くなったとはいへこれは矛盾しますね。

宮崎 であれば大きなものを作つて、大劇場もあれば小ホールもありといふいろいろな用途別の施設がある——というのが理想でしょうね。

赤根 美術館にしても常設ということじゃなく、又市と県がコレクションを持つということでは、そう困難ではないと思うんですが、私、一つ考えたことがあつて、例の県展ですね、あれの賞を何か買い上げ賞みたいなもので奨励賞を、どこかの機関が年に一、二点でも買いあげて、そ

れを県庁や市役所など公共に寄贈する。そうすればそういう絵が一般の殺風景なオフィスに飾られ、一方で郷土の作家の作品が何んらかの形で残っていく——という事になればいいのと思いますね。これは一例ですけど。

松井 いいアイデアですね。

赤根 仮りに絵の具代でもいい。宮崎 絵の買いあげという案は、

チョットもったことがあるんですよ。できればこれからは年に少しでも予算を組んでそうした絵を買いあげていくというふうにやっていたらいいと思いますね。

今年初の試み

兵庫県芸術祭

沼 県の芸術祭というのは——

松井 今年のはじめての試みですが各文化団体が連名で抗議書を送ったり、いろいろ批判はあるようです。

宮崎 大阪のフェスティバル的なものですね。

赤根 これはローマから車で行くと小さな町でスボレートという町があるんですが、そこでモニヤニニとかヘンリームーア、日本の東という人など世界各国から彫刻を集めた国際彫刻展が開かれてたんですよ。恐らく文化の文の字もない小さな町なんですがね。

路次の入口に大きなブロンズがあり道路を掘ってそれにモアなどの大きな作品、国際級のもものが集められてるんです。そして町ぐるみがこの彫刻展に集中し、誇りにしてらるんですね。夜は照明でてらしてましたが——

今度のように、文化祭みたいな形で、演劇あり、音楽ありと総合的にやるという芸術祭も大事でし

ようが、そういった何か大きなものをドカンとやる、神戸以外では何処もやってないといったものをね。神戸人の持っている国際的な感覚を単に何んとかセンスとかいう言葉でないものでボカッとする。

松井 今度の芸術祭でも、日本で行なわれている芸術祭を非常に観念的にとらえてそのままやってるわけですよ。スタイルとしてはねその辺に問題があると思いますね。兵庫独自のカラーとか個性は全くないですよ。主体性が全然ない。宮崎 そう、全然ありませんね。

赤根 たった一人の人のものでも神戸を舞台に何か新しいものを紹介していき、注目させるというところにむしろ文化祭としての意義がありそうな気がしますが。

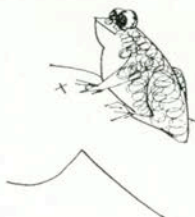
吉村 大阪の国際フェスティバルでも、いまでもその気持があるでしょうが、やはり全世界にポスト・Iをバラまいて全世界から本場に国際的なお客を呼ぼうというのがねらいでね。見本市とぶつかった時にはそれが実現しますが、実質は国際的なものを日本人に買わせるという風になるんですね。

賞を出してもっと奨励しよう

松井 大阪には市民文化祭と大阪府芸術祭の二つがありますね。

吉村 大阪府の方はね、賞金を出して脚本募集をやっていますが、今年から映画の脚本も認めるようになってる。他は市と同じように各催えの参加させる。この他には浪花賞、芸術賞がありますね。府の芸術祭の賞金は30万円のワケでこれを分配するわけですが団体で5万/10万位、個人で入選程度だと一万円位とかね。

沼 とにかく市の場合には、参加作



びんくこーな一

「文化の日」の特集だから、ピンクコナーもお上品に……というご注文ですが、だいたいセックスを低級だと考える方がたいへんな誤解です。それ、セイ(聖)なるものは……というではありませんか。それに引きかえ「文化」という名がついたおかげで低級になるものがたくさんあります。文化住宅、文化コンロ、文化オジメなどのいつたどこが高級だとおっしゃるんですか。江戸文学の大家？である筆者は「文化」というすぐ江戸後期の文化年代を思いだします。いい時代でしたな。なにしろ享楽の生活に一生を捧げた十代將軍家斉が、大奥三千の美姫にかこまれていた時代です。將軍が「率先垂範」するものですから下みなこれに習えで、享楽の気風は全国を風靡しました。「文化」という年号はよくもつけたものと思います。それに特筆すべきことは「逸著聞集」(いっちやもんかしゅう)「阿奈遠佳志」(あなえのひめごと)といったセイナル名著がこの時代の前後に生まれていることです。さすがは国文学者の筆のすざびだけあって「おんみづから御腰をもたげさせ給へるかたじけなさに、仰むけ臥せ奉りて……」といった名文でつづられていきます。これを「文化」といわずしてなんぞや。

(T)

品が大へん多いですからね。一〇〇件以上もあり、その中から10人足らずの人が選ばれるんだから、そりゃ励みになりますよ。また賞をもらったということはパンフレットなどにのればいい肩書きになりますからね。

松井 芸術祭というものはいま曲がり角にきている。したがって兵庫県がそれを踏襲する手はないだいたい芸術祭は二つの形に大別できます。つまり参加する形と、鑑賞と。そして一般市民の生活を豊かにしていくためなら、少くとも労音とか一般興行でやれないものを、一つでもいいから最高のものをやってほしいですね。

吉村 お金がなけりゃ、名誉賞でいいから、紙一枚でもいい、そういうことを活発にやられることは必要だと思いますね。

沼 大阪市の文化賞でも紙一枚の名誉賞を出したことがありますよ。

吉村 楯などでもいいしね。

宮崎 県や市が芸術に理解をもっているんだ。大いに奨励してるんだということを見せる必要があるね吉村。そうすりゃ、新聞もとりにあけてくれる(笑)

松井 そういうふうな育成という点では意見がいろいろあるんですが、今もって考えたいのは一般市民が生活の中でどれだけそういう文化を享受できるかということだ。これは私たちの大きなテーマになってるんですけどね。花火のような芸術祭なんかじゃなく、もっと日常的な場だね。それにはやはり美術館を町の中に建てるとか吉村。とにかく、ミス神戸をパレードさすとかいったものでなく、もう少し先きのことをね(笑)

宮崎 文化的な動きが盛りあがってきたから文化施設を作らないといけないという考え方と、作らないければ盛りあがらないという考え方とあって難かしいですね。

松井 例えば、何力年計画を立てて、こういうものを作るからと目的をはっきりさせておいて市民から税金をとってもいいと思うんですが――むろん関心のない人には怒られるかも知れないが、少くとも自分の息子や娘の将来を考えればね。

赤根 それと、出来る出来ないは別にしても、そうしたことをいろんな席で、しょっちゅう言わなきゃいけませんね。

吉村 それから警官を表彰するようにはあらゆる面で表彰してそういう線を示すんですね。紙一枚で出来ることをね。

神戸市に交響楽団?

宮崎 神戸にオーケストラを持つては――という提案があるんですけど……

吉村 神戸市は優秀なジャズ・バンドを持つ方がいと思うなあ(笑)

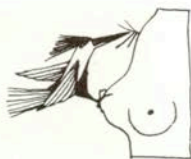
松井 経営的にみてむしろ少編成のオーケストラの方がいいのでは

吉村 使いくて中途半端ではないかな。やはりシンフォニック・オーケストラだらうけど……京響でも定期演奏は入らないらしいね、大阪や神戸へ来ると入るようだけど。

赤根 本格的な立派なものを作って出稼ぎにまわりますか(笑)

宮崎 それは困りますし、とにかくむづかしい問題ですね。また、いろいろとご意見をきかせていただき、参考にさせてもらいましょう。

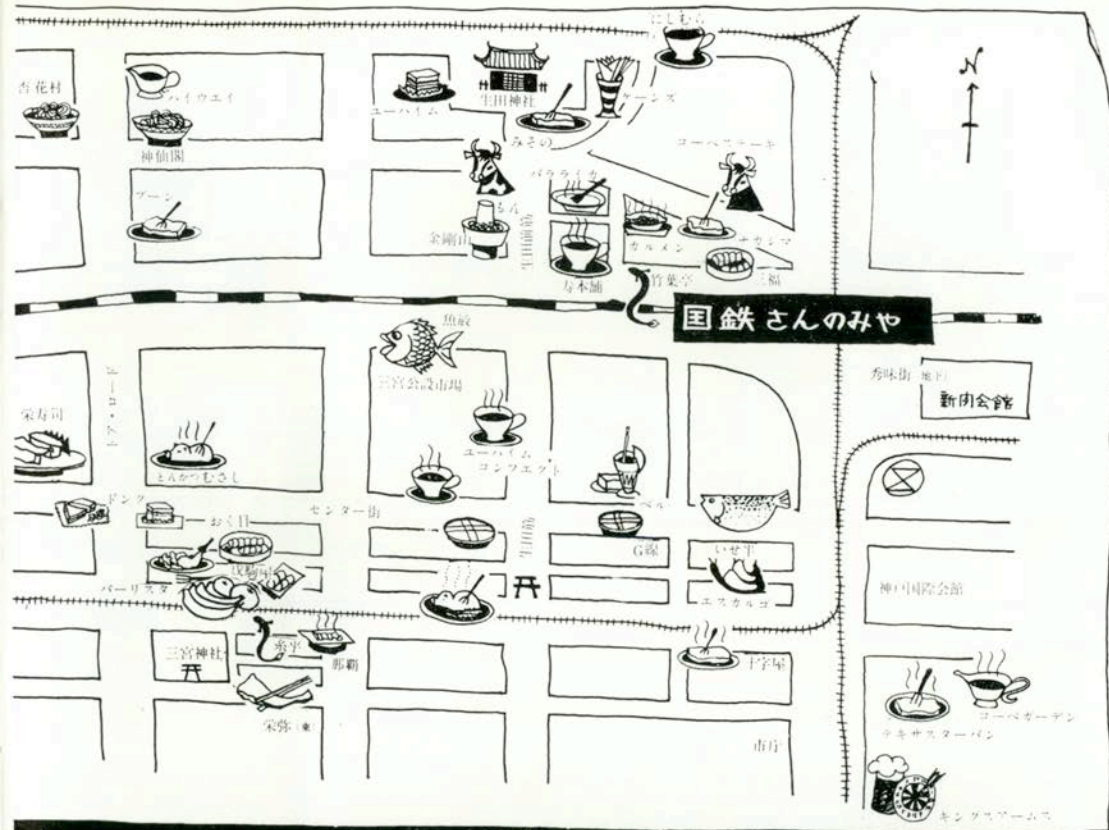
ひんくこーな一



文化のはじまりは「紙」の発明にあるといっている。エジプトでは水草からパピルスという紙をつくりました。やがて羊の皮をなめした「羊皮紙」ができました。そして木材パルプから紙がつくられるようになります。文学は急速に発展して行きました。もっとも、なかには屑屋が目方で買っていくようなものもありました。紙のおかげで名作は後の世まで残るようになりました。

さて、文化に与えた紙の功績は文学や学問の本だけではありません。セイなる文化にも大いにこれが役立っているのです。もちろん国によつては紙を使わないところもありますが、日本では昔から紙を愛用しています。そして、もっとも上質の紙を必要とします。ガサガサと音のするような紙は落第です。「みす紙はふくの、小菊はやるのなり」という川柳があり、小菊という紙はふくための紙、小菊という紙は一枚十二文の紙、小菊をやるかわりに小菊をやるという小切手みたいに使われたものらしいです。どちらも上質紙の代表ですが、金のない連中にはこんな上等な紙は使えません。「鐘は上野か浅草か」をもじって「下女の恋紙は上田か浅草か」という句があります。上田、浅草とも、センカ紙のような粗悪な漉返紙(すきかえしがみ)の産地でした。(T)

神戸うまいもの地図



うまいもの店
ごあんない

グ
リ
ル

ブ
ー
ン

TEL 1514 トアラ・ロド

英国式バー・レストラン

キングスアームス

TEL 市庁舎向かい浜側
②② 3 7 7 4

ゲ
リ
ル

コウベステーキ

阪急 三宮山側
TEL 2581-239

ロシヤ料理

バラライカ

TEL (3) 7919 生田筋東入る

スペイン料理

カル
メン

三宮阪急西口"寿"北上る
小宴会承り③2228

江戸前

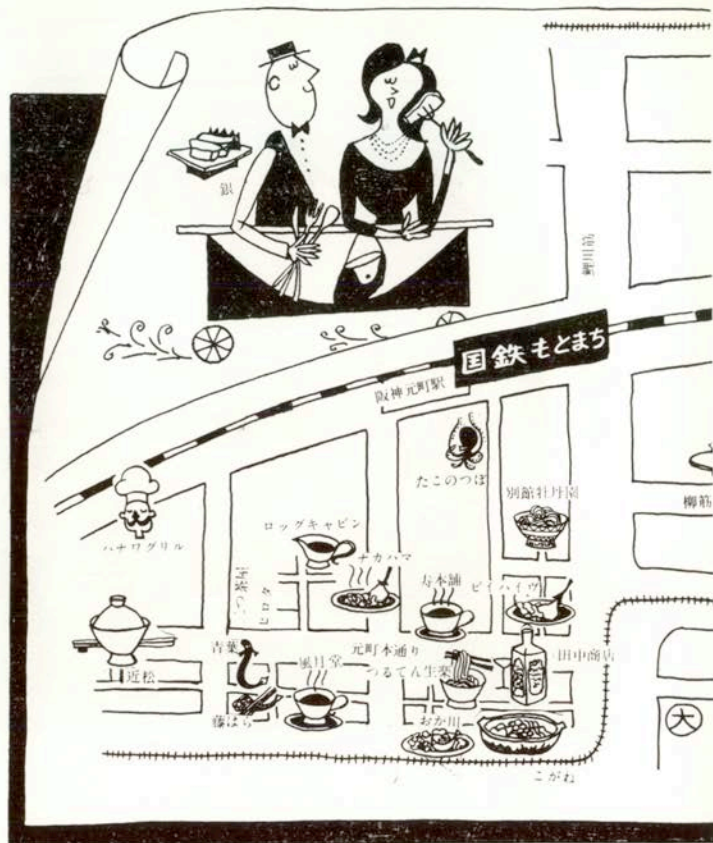
榮壽司

TEL 三宮三・柳筋 0069

とんかつ

武藏

TEL ③ 2296 三宮センター街



ランチタイム

斉藤 正造

トア・ロードにあるパウリスタの路地を入ってすぐの更に細い路地を入って二軒目にある「こやなぎ」は、サラリーマンにとってはもってこいの手頃な洋食専門店である。エビコロッケ、カツ、ポークチャップ、いまならカキフライなど小さな黒板にかけられてある五六種類の献立は、ブタ肉のミソ汁にゴマかけのあったかいドンブリ飯と漬けもの付きでオール180円也だ。飲みもの類はオール零。下が五、六人かけのカウンター式で二階はテブル約十二、三人が入れるかどうかといった小さな店である。それだけに昼食時の人の出入りの激しさは大へんなもの。こ

夫婦で揚げ料理した品を、若い二人の女性が次の注文を聞くのも忙しげに動きまわっている。ラッシュユウをはすせば、落着いて話もできようが、気ぜわしいのがタマにキズ。味付けは家庭的で誰れの舌にも合いそだう。ケンタ家家のボクは、時々、オカズだけを追加注文することもあるが、それでも安いものだ。場所が証券会社や銀行などのオフィス街に近いとあって昼間は始どが事務姿のBGやサラリーマン諸君で満員。帰えりがけには、マスターがすごく威勢のいい声で「毎度アリガトー」と送り出してくれる。夜は割り合いと早仕舞いなのもこの店の特色で、エビコロッケが午後からは品切れになりやすいのは残念だ。(銀行員)

寿司

三

福

三宮阪急東山側
TEL ③ 24456

ステーキ

みその

神戸生田神社前
東京田村町3

西洋御料理
シヤブ、シヤブ
オイル焼

もん

ハナワゲリル

元町5丁目
(モダン寺高架浜側)
TEL ④ 6942・5919

朝鮮料理

金剛山

神戸・三宮・生田神社前
TEL代 ③ 5561

バーベキュー

コーベガーデン

市役所前東入る
TEL ② 4400

神戸一の総合レストラン

パウリスタ

三宮トアロード
TEL ③ 1362

鰻・蒲焼・日本料理

竹葉亭

三宮阪急西隣
TEL ③ 1120
1140